

【INDEX】

◆視点

- ・病害虫発生予察情報を有効に利用しましょう

◆研究情報

- ・イチゴ「きらび香」の高設栽培における未分化定植栽培法
- ・‘茶の都しずおか’を担う「香り緑茶」製造用の大量香気発揚装置の開発

視点

本所

病害虫発生予察情報を有効に利用しましょう 技監兼病害虫防除所長 五十右 薫

病害虫防除所が毎月末に発表している「病害虫発生予察情報」をご存知ですか？

病害虫防除所では県内で生産される主要 18 作物 33 地区の 330 地点(10 地点/地区)において、各作物の栽培期間に毎月病害虫の発生状況を調査しています。また県下 62 地区 77 名の病害虫防除員から届く病害虫発生情報や、農林技術研究所本所・各研究センター内の発生予察ほ場での発生状況に加えて、气象台が発表する 3 ヶ月・1 ヶ月の気象予報を基に、翌月の各作物の主要病害虫発生状況を予測しています。

この発生予察事業は「植物防疫法」に基づいて各都道府県で実施されており、病害虫の発生動向等の情報を提供することで、農作物の被害防止と生産安定を図ることを目的に行われています。

農作物の栽培管理において病害虫防除は重要な作業ですが、病害虫の発生状況を踏まえた上で防除を行うことは、生産コストの低減を図ることができるだけでなく、農薬に対する抵抗性害虫や耐性菌発生の抑制にもつながります。

防除所のホームページ（「静岡県病害虫防除所」で検索）では発生予察情報の他にも病害虫の発生状況、害虫誘殺状況、果樹・茶の病害虫の発生時期予測、農薬安全使用指針に関する情報を提供しています。

また、県農作物病害虫防除基準に掲載されている農薬の検索もできるようになっています。

スマートフォンにも対応しており、いつでもどこにいても必要な情報を入手することができますので是非御活用ください。

The screenshot shows the homepage of the Shizuoka Plant Protection Office. At the top, there is a navigation bar with links for Home, Environment, Health, Education, Industry, and Exchange. Below this is a search bar and a list of quick links. The main content area is titled 'Shizuoka Plant Protection Office' and includes a 'News' section with several recent updates. A sidebar on the left contains a list of links for various services and information. The overall design is clean and professional, with a focus on providing practical information to farmers and growers.

病害虫防除所ホームページのトップ画面

研究情報

イチゴ「きらび香」の高設栽培における未分化定植栽培法

研究所で育成された早生、良食味で、連続収穫性に優れるイチゴ新品種「きらび香」（2017年2月登録）は、平成28年度は約20haで、県内のみで栽培されています。

研究所では省力化及び労力分散のために「きらび香」の品種特性が発揮できる未分化定植栽培法を開発しました。未分化定植栽培では、定植時期と収穫開始時期を分散でき、育苗労力も大幅に軽減できます。収量は慣行のポット栽培と同程度であり、また心止まり株の発生も軽減できます。

未分化定植栽培は、採苗後すぐに高設栽培槽に定植し、一定濃度（原水+0.1 d S/m）の養液をかん水します。8月中は葉枚数2枚で強い葉かき管理をして草勢を抑え、乱形果の発生を減少させます。ハウスには花芽分化するまで寒冷紗を設置し、ハウス内の温度を下げます。

定植後は9月中旬から定植株の一部を用いて花芽分化検鏡を行い、分化を確認してから通常の養液管理とします。栽培終了時には次作に向けて、栽培槽内の硝酸イオン濃度を0.2 d S/m以下に下げます。研究所では「きらび香」の栽培技術の普及を図ってまいります。

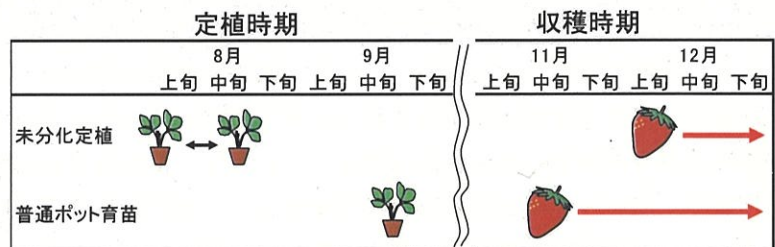


図 未分化定植栽培の定植・収穫開始時期モデル

（農林技術研究所 野菜科 上席研究員 井狩徹）

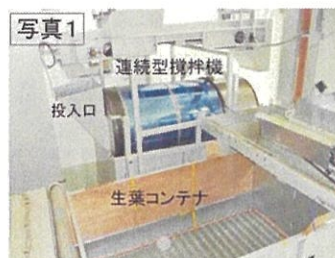
研究情報

‘茶の都しずおか’を担う「香り緑茶」製造用の大量香気発揚装置の開発

茶の需要拡大が大きな課題となっているなか、茶業研究センターでは、普通煎茶、深蒸し煎茶に続く新たな煎茶として、香りを強化した「香り緑茶」の開発を平成26年度から進めてきました。本年度、カワサキ機工（株）との共同研究で、大型香気発揚装置を開発しました。

これまで、「香り緑茶」の製造では、加温や低温静置において生葉を平カゴ等に薄く広げることから、一度に30kg程度の処理しかできず、大量に処理すると安定した香気発揚という点で問題がありました。

今回開発した連続型攪拌機と生葉コンテナからなる大型香気発揚装置では、地域の共同工場において、200kg以上の生葉の香気発揚処理に対応することができ、また香気発揚の難しい品種である「やぶきた」を利用した場合でも、主要7香気成分量で従来の1.5倍強程度の香気発揚を達成し、流通業者を対象とした調査でも、従来の煎茶とは異なる緑茶として販売可能な品質を備えているとの評価もいただきました。茶業研究センターでは、「香り緑茶」の普及を図るため、平成29年度からの新規課題として、「香り緑茶」の現地における生産と商品化に向けた研究を進めてまいります。



（茶業研究センター 商品開発科 上席研究員 畑中義生）

編集・発行 静岡県農林技術研究所

〒438-0803 静岡県磐田市富丘 678-1

TEL. 0538(36)1553 (企画調整部) FAX 0538(37)8466

URL : <http://www.agri-exp.pref.shizuoka.jp/>

E-mail : agrikikaku@pref.shizuoka.lg.jp